

「言語と情報研究プロジェクト」 第45回公開セミナー（第2部）

2013年10月25日（金）17:15～18:15
広島大学総合科学研究科 会場: J205

演者: 高野 泰邦氏 (長崎大学教授)

演題: 「日本語の助詞「が」と「は」の機能と節の構造－
統語論、意味論、語用論のインターフェイス－」

21世紀に入り十数年が過ぎようとしている現在に至っても、日本語の助詞「が」と「は」の文章構造上における機能についての包括的、明解な定説は、確立されていないと言って良い。本公開セミナーでは、統語論、意味論、語用論の領域に複雑に作用する性質を持つ「が」と「は」の機能について反証可能な仮説を立てることにより、「が」と「は」の文章構造上の機能の解明に迫る。また、「が」と「は」でマークされる構成素が多重生起する節内の「が」と「は」の機能に焦点を当て、Luigi Rizzi (1997)で提案されたCartographyによる欧米諸言語に普遍的であるとされる節の構造モデルを援用し、日本語の助詞「が」と「は」の節の構造を提案する。

※ (他)学部生、(他)大学院生、教員、どなたでも参加自由です (申し込み不要)

広島大学大学院総合科学研究科 21世紀プロジェクト・「言語と情報研究」プロジェクト

(連絡先: 安仁屋宗正 aniya@hiroshima-u.ac.jp)